

しゃきょう  
「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

Y ホームページアドレス Y  
<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/>



編集・発行—季刊

社会福祉法人  
横須賀市  
社会福祉協議会  
〒238-0041  
横須賀市本町2-1  
TEL. 046-824-3435  
046-821-1301  
FAX. 046-827-0264



## 力を合わせる ともに生きる

高齢者宅の電球の交換、障害のある子どもたちとの外出や一泊キャンプ、被災した家の片づけ…横須賀で、東北の被災地で、誰かが誰かの力を必要としています。

毎日の暮らしのなかで、わたしたち一人ひとりができることを見つけ、みんなが安心して暮らせる、やさしさと温もりのあるまち・横須賀のために、みんなの力を貸してください。



昨年のふれあいキャンプでのひとコマ

## 「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル2011



▲手話ダンス

6月5日の日曜日、今年で16回目となるフェスティバルを開催しました。東日本大震災により多くのイベントが中止となり、実行委員会でも大いに悩みました。しかし、被災地を含め全国的に景気後退の懸念がある中で、イベント名のとおり「やさしさ」や「元気」の雰囲気を広げていこうという考えのもと開催となりました。

当日は、市内の地域作業所、福祉施設、企業、ボランティア、市民団体など57団体の参加によって多彩なイベントが催され、8,000人の来場者もあって大賑わい。いつもと違ったのは、チャリティや義援金募集といった被災地支援を意識したイベントが催されたこと。フェスティバルをとおして横須賀から発信した「やさしさ」が広がり、被災された方々にも届くことを願っています。



▲アイマスクをつけて歩いてみよう



▲屋外での各種団体による催し

# 東日本大震災

## 今わたしたちにできることを考える~



3月11日に発生した東日本大震災は、一人ひとりができる事を考えて、行動するきっかけになりました。かつてないといわれる大きな災害の後、被災地や避難所へ支援に行った人たちにお話を伺いました。

※写真：津波で流された思い出のアルバム等を保管している、釜石市民文化会館に掲げられた看板。

**横須賀災害ボランティアネットワーク  
副代表 海野 千秋**

つくば市洞峰公園避難所にてボランティアコーディネーターとして、学生ボランティア等の活動を支援してきました。

体育館には原発事故の被災者330人ほどが避難し、生活しています。ボランティアはほとんど地元の大学生で経験や実績はありませんが、若さと統率力は抜群でした。横須賀市にも、若いボランティアがさらに育ってほしいと強く感じました。

**横須賀災害ボランティアネットワーク  
代表 鷹野 克彦**

3月18日から県立武道館の柔道場が一時避難所として使われ、ボランティアコーディネーターとして避難者の生活支援の活動をしてきました。福島で被災された15家族35人が避難所生活をしていました。多くの人が自分の荷物も持たず、横浜の地に避難してきました。

私たちは生活しやすいように、また横浜に避難してよかったですと思われるようにお手伝いをしてきました。4月末に武道館の避難所は閉鎖され、ほとんどの人達は福島に戻り、復興に歩み始められたと思います。今後は、復興支援の活動を継続していきたいと思います。

**横須賀市ボランティア連絡協議会  
会長 佐藤 昌久**

神奈川災害ボランティアネットワークの主催で、5月8日に陸前高田市の「思い出探し隊」に参加しました。がれきの中からボランティアが集めた思い出のアルバム、位牌などをきれいにし、持ち主に返す仕事です。教科書が入ったランドセルには涙がこぼれました。写真を丁寧に見ている姿は痛々しく感じます。「できる時に、できる人が、できる事を、無理することなく長く続ける事」ボランティア活動の原点を再確認して帰ってきました。

家族や周囲の人の安全確認方法や避難場所、備蓄など、日ごろから家族と話し合い、防災に取り組むことが大切です。また、支援を必要とする人へ何ができるかー被災地でのボランティア活動のほか、横須賀で義援金や節電などに協力することも大きな力となります。

## 東日本大震災義援金に ご協力ありがとうございます

神奈川県共同募金会横須賀市支会では、3月14日から東日本大震災義援金の募集を開始し、多くの市民の皆さまから募金をいただいてあります。

東日本大震災義援金は、被災された方に直接届けられるお見舞い金です。義援金の受付は、2011年9月30日(金)までとなります。

何とぞご協力をあ願いいたします。

募金状況 6月3日現在  
14, 306, 855 円

## 寄贈いただきました

釜石市災害ボランティアセンターへの職員派遣に際して、去る4月11日、株式会社高橋モータース様（大津町）より、公用車ハイエースに車載するカーナビシステム・ETC車載器の寄付がありました。このカーナビは、不案内な土地での支援活動に大活躍しました。



〈ご支援いただいたその他の団体〉※順不同・敬称略  
財団法人横須賀市生涯学習財団  
よこすかシーサイドマラソン実行委員会

**必見!****~地域の力をさらにUP!~****“小さな工夫 大きな一歩”⑪****困ったときはお互い様 地震発生直後に徒歩帰宅者へ自治会館を開放**

東日本大震災が発生した3月11日、多くの人が職場や外出先から徒歩での帰宅を余儀なくされ、不安と疲労感を抱えながら歩く人たちへ、自治会館を開放した地域がありました。

国道16号線に面し、三方を山に囲まれた長浦5丁目の400世帯で構成する長浦自治会は、地理的条件もあり、住民同士が協力し合う気質が現在も残っています。なかでも、自治会と協力関係にある長浦自警会は、町内の防犯・防災の実動部隊として長い歴史をもち、このたびの自治会館の開放にも、大きな役割を果しました。地震発生直後に電車が運休、国道沿いを歩く人たちを



心配した自警会副会長の一ノ木戸さんが、会館の開放を自治会長に相談したことから、実現しました。休憩場所やお茶の提供のほか、トイレ、電話も自由に使える旨、手書き看板とともに自警会や自治会役員が呼び掛けました。自警会メンバーで自治会長の鈴木康夫さんは「困ったときはお互い様。道路沿いですぐに入れる建物なので、少しでも役に立てたらと思った」と話します。当日は夜11時頃まで開放し、100人以上が会館で休憩していました。「三鷹まで帰るという人がいた。後日お礼を言いに来てくれた人もいて、やってよかった」と話すのは、自治会庶務の鈴木一功さん。歩く人たちを心配して、その後二日間開放を続けました。

鈴木会長は「津波への対応など新たな課題もあるが、行政の対応を待つのではなく、自分たちでできることから取り組みたい」と、緊急時の対応や日ごろの心構えを記した防災読本を再確認するよう、地震発生翌日に町内全世帯へ呼びかけたそうです。

**釜石市災害ボランティアセンターへ職員を派遣しました**

横須賀市社協の職員として、4月13日から20日まで、釜石市災害ボランティアセンターの支援に参加しました。釜石市は人口約3万9千人(本市約41万6千人)、面積約441km<sup>2</sup>(本市約100km<sup>2</sup>)で、釜石湾、大槌湾などの四つの入り江に面しています。海沿いの家屋のほとんどが大きな被害を受けていました。活動の内容は、ボランティア要請のあった住居へ伺い、活動できる現場が、人数はどのくらい必要か、といった事前調査です。さらに、各避難所を回り、困りごとの聞き取りやチラシによる行政からの情報提供活動が中心でした。

被災者から直接話を聞き、要領よく、かつ迅速な対応を心掛けましたが、土地勘もない私には何事にも困難を極めました。しかし、そこには被災者の私達への心配りに加え、何事にも動じない、強く大きな精神力がありました。実際には、計り知れないストレスがあったと思います。支援に行った私自身が励まされ、元気をもらった思いです。

これからも、さらに自分のできることを考え、支援活動を実践していく決心を新たに帰ってきました。 よこすかボランティアセンター 岩間道夫



阪神・淡路大震災後の1997年に、関東甲信越静の都県・政令市の社協は、大規模災害が発生した際の相互支援協定を締結しました。このたびの東日本大震災発生にともない、神奈川県社協からの要請を受けて、横須賀市社協では4月13日から5月29日まで、計3人の職員を派遣しました。



&lt;土・日曜日&gt;も開いています。

**くらしの相談**相談は  
無料

お客様相談室

ご相談内容:相続・年金・資産運用・税金・その他よろず相談をお受けしております。

お取り次ぎどころ

お取引店へ各種書類をお取り次ぎいたします。

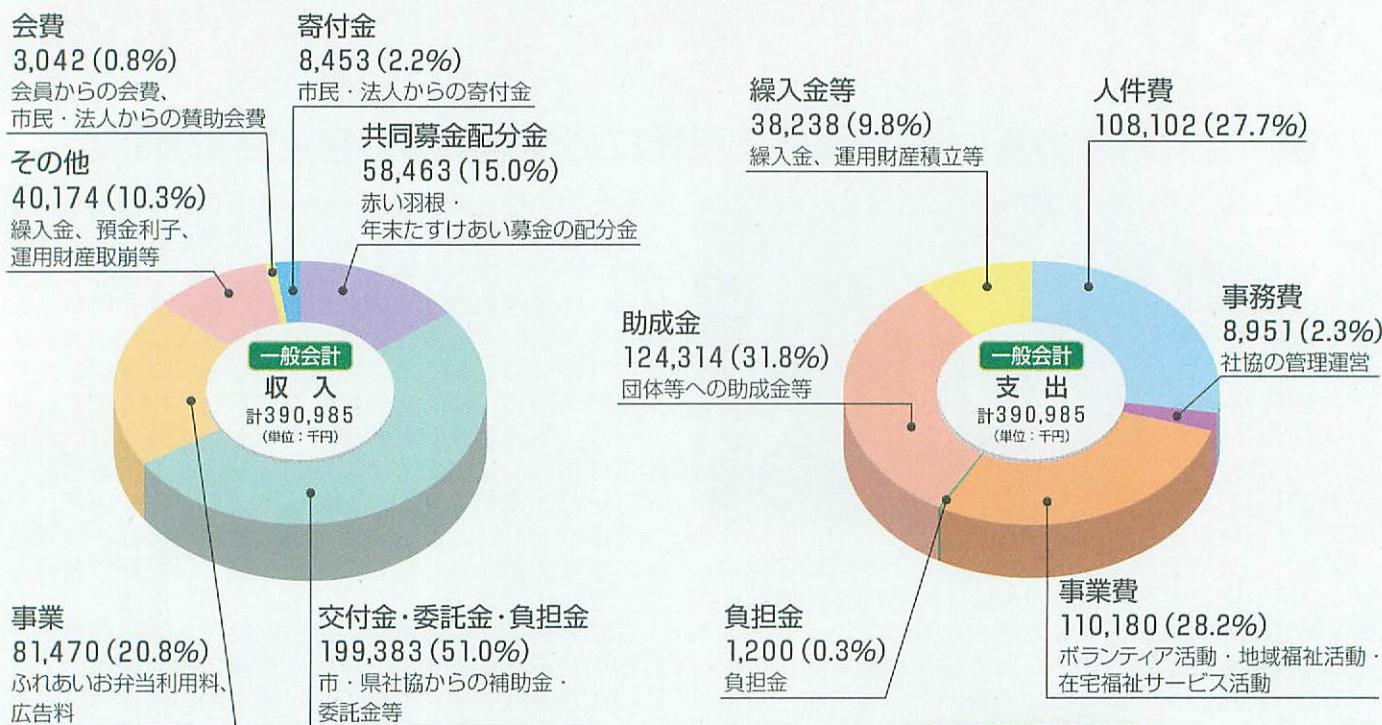
横須賀中央駅前出張所 2階

フリーダイヤル 0120-046801

営業時間 午前10:00～午後7:00

お休み 12月31日から1月3日まで、および平日が  
休日の場合はお休みとさせていただきます。**TRIbank Miura Fujisawa 三浦藤沢信用金庫**

# 平成22年度 横須賀市社会福祉協議会の決算状況



市社協事業に対する皆様のご支援、  
ご協力ありがとうございました。

貸借対照表

(単位:千円)

《資産の部》 376,148	《負債の部》 104,233
《純資産の部》 271,915	
合計 376,148	合計 376,148

## 横須賀市社協の福祉活動を応援してください!



### 賛助会員募集中

ありがとうございます。

#### ★平成22年度賛助会員加入結果★

会員区分	加入件数	会費額(円)
個人	344	731,000
団体	77	495,000
合計		1,226,000

横須賀市社協では、賛助会員を随時募集しています。

賛助会員は、市社協が地域福祉を進めていくための取り組みに対して、ご賛同いただける方々に会員としてご加入いただき、その会費を事業に活用させていただくことで、ご支援をいただぐものです。

毎年度、賛助会員のみなさまのおかげで、充実した広報活動やボランティア関連事業を展開しています。みなさまのご支援をお待ちしています！

#### ★賛助会員のみなさまのご支援で次の事業に役立っています★

社協だよりの発行(年4回)、ホームページの開設

ふれあいキャンプ、ボランティア体験、おもちゃの病院

## 2日間 無料 はじめて体験教室

★指定教材(帽子・カードケース・ヘルパー)をプレゼント!!

クラス名	期間	時間
1期	7月21日(木)～7月22日(金)	9:00～10:00 10:00～11:00
2期	8月8日(月)～8月9日(火)	10:00～11:00
3期	8月10日(水)～8月11日(木)	10:00～11:00
4期	8月16日(火)～8月17日(水)	10:00～11:00
5期	8月18日(木)～8月19日(金)	10:00～11:00

対象 2歳6ヶ月～15歳、水泳に不適当な疾患のない方  
初めてイトマンの授業を受けられる方

### 指定教材

帽子 460円・カードケース 150円  
ヘルパー(浮き袋:泳げない方)660円  
※水着は自由です。

### 申込方法

フロントにて申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。  
★電話予約OK!  
※体験教室の申込みは1クラスのみとさせていただきます。  
※各クラス定員により次第締め切りとなります。

## 夏休み短期教室

短期教室受講枠  
入会特典

入会金 0円!

+  
水着・バッグ  
プレゼント!!

+  
短期教室受講料(1期間分)  
全額キャッシュバック

イトマンスイミングスクール横須賀校

横須賀市日の出町3-11 ☎ 046-823-6170  
<http://www.e-itoman.co.jp/>



平成22年度 ご協力ありがとうございました。

# 共同募金結果報告

## 赤い羽根共同募金

昨年度、みなさまからお寄せいただいた寄付金は、下記の表のとおりとなりました。あたたかいお気持ち、ありがとうございました。横須賀市での共同募金運動は、平成14年度から「一般募金」(赤い羽根募金)と「年末たすけあい」を統合し、年1回の運動として取り組んでいます。配分の際には、実績総額の60%を一般募金分、40%を年末たすけあい分とし、一般募金分は、神奈川県共同募金会から横須賀市内の民間社会福祉施設・団体へ平成23年度に配分されます。年末たすけあい分は、横須賀市社会福祉協議会を通じて市内の障害者地域作業所・生活ホーム・地域訓練会と各種団体へ配分させていただきました。

戸別募金	街頭募金	法人募金	職域募金	校内募金	その他の募金	合計
72,286,086	1,948,592	2,277,480	2,988,573	560,797	715,930	80,777,458

赤い羽根募金分（45,917,017円）

\*他市町村の福祉施設・団体へ  
2,549,458円(災害準備金含む)

市内保育園	4,250,000円
〃 高齢者施設	160,000円
〃 障害者施設	7,940,000円
〃 障害者地域作業所・生活ホーム	7,140,000円
〃 在宅福祉サービス団体	900,000円
横須賀市社会福祉協議会	25,527,017円

年末たすけあい募金分 (32,310,983円)



市内障害者地域作業所	2,095,000円
〃 障害者生活ホーム	695,000円
〃 障害者地域訓練会	800,000円
〃 障害者関係団体	550,000円
〃 児童福祉施設団体・その他	228,000円
〃 地区社会福祉協議会	27,942,983円

太陽の家・太陽の家二番  
NPO法人車椅子レクビ  
草)、ウイーニング・ウインド

太陽の家・太陽の家(一番館)、太田和保育園、浦賀保育園  
NPO法人車椅子レクダンス普及会横須賀支部(矢車  
草)、ウーリング・ウインド、寧寧

御子柴香春 加藤尚高 高橋清流 粟沼治次一 見事一川中光子、萩原君枝、向原久美子、宮間隆司、今村史子、堀田八千代、柴崎三沙子、清野加夜子、高橋順子、宮田伸子、杉山眞希、太田和保育園職員の皆様 吉岡寿一、横川義司、小関敏子、長田絢子、藤井壹美子、村田英朗、松不康夫、鈴木夕ケ子、鳴井広、鳴井千恵子、加藤武一、加藤晴代、関本貴子、清水康彦、笹岡絢子、伊藤博枝、前田幾代、藤原尉夫、鈴木立也、高木進、高木登世子、岩間道夫、岩間數子、稻葉抄子、稻葉優子、鈴木孝芳、鈴木真理子、鈴木芳子、沢野邦男、沢野敏子、小川妙子、小川時代、小林幸平、小林喜代、平文子、平文子照子、松尾健一、松尾澄江、松尾亮平、松尾芽生、毛受豊、平野友克、平野由紀、平野裕才、川高広、市川直美、市川麻央、市川清敬、市川茂子、木村涼纖、林啓之、林真理、林七菜子、林貞啓、三小田博文、三小田道子、三小田亞耶、三小田晃兒、三小田祥子、横溝美里、江、鈴木篤、鈴木昌子、鈴木翌、鈴木明子、馬場二二美、島崎みすほ、宮本隆和、平木省吾、亀崎理恵、中村希、樋能幸、樋幸、樋熊美智代、樋熊愛子、花見昌追、吉田恵利子

平成23年3月1日～5月31日  
順不同・敬称略  
固人(17名)

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・E-MAIL等でお伝えください。三浦藤沢信用金庫と湘南南信金庫の振込用紙（両信用金庫との協力により振込手数料が無料になります）を送付させていただきます。  
**個人預貯** 一口 1,000円 / **団体預貯** 一口 5,000円  
※預貯は年会費となつており口数は何口でも結構です  
TEL (041) 180-1 LAX (041) 0NO-64  
E-mail shakyo@wg7.so-net.ne.jp

賛助で参上!  
社協活動応援団



## 賛助会員のご紹介

快適なシルバー・ライフの実現へこんなご希望ありませんか?

- ・高齢者住宅に向けた資金準備をしたい
  - ・買物便利で病院に通いやすい所へ住み替えたい
  - ・今のうちから相続対策の準備をしたい
  - ・お子さんと同居・親族の近くへ住み替えたい

→ まずはご相談ください!

**売却** プロが売却不動産を無料査定！

**新生活** 高齢者施設に関する無料相談お受けいたします。



ウスイホーム株式会社

久里浜店 ☎046-833-0006  
馬堀海岸店 ☎046-841-7000  
横須賀中央店 ☎046-828-3800

野比店 ☎046-849-5500  
衣笠店 ☎046-853-5700  
武山店 ☎046-856-0009



## ふれあい キャンプ

# ボランティア大募集!!

鴨居コミュニティセンターで**あい**、子どもたちと**ふれあい**、  
ボランティア同士で**たすけあい**、この3つの**あい**でキャンプを盛り上げよう!!!

15歳(高校1年生)以上で、「元気!(^^)!」と「子どもたちと優しく接してくれる気持ち」がある方、“ふれあいキャンプ”で一緒に暑い夏を吹き飛ばしませんか。

このキャンプは、主に知的な障害のある小学校3年生から高校3年生の子どもたちと、泊まりながら楽しく過ごすものです。

日程: 7月30日(土)~31日(日) [1泊2日]

場所: 鴨居コミュニティセンター

申込み: 電話・FAX・E-mailのいずれかで、よこすかボランティアセンターへ。

①氏名(フリガナ)、②性別、③年齢、④住所、⑤電話番号をお伝えください。  
(FAX・E-mailの場合は、①氏名(フリガナ)、②性別、③年齢、④住所、  
⑤電話番号、⑥参加回数を記入してください)



みんなで輪になって

### 〈参加ボランティアの感想から。。。〉

- ♪ 1泊2日という短い企画ですが、内容の濃い貴重な経験体験ができる場と思いました。
- ♪沢山の人とふれあって沢山のことを学ぶことができました。
- ♪最初はずっと不安でいっぱいだったのですが、終わってみるととても良いキャンプだったと思います。
- また来年もぜひ参加したいです。

## 夏休みボランティア体験

今回はエコ活動が中心です。

★夏休みの自由研究にも役立つかもし!!

☆プログラム☆ (1つから体験できます)

### ◇古切手のリユース

…古切手を再生し、小物を作ります。

### ◇古新聞のリサイクル

…古新聞を再利用し、エコバックを作ります。

### ◇ハンカチのリサイクル

…ハンカチでバックを作ります。

### ◇封筒のリサイクル

…送られてきた封筒を再利用して、素敵なかード入れを作ります。

### ◇割りばしでエコうちわ

…割りばしの意外な活用で、今注目のエコなうちわを作ります。

ボランティア体験の夏がやってきました。

身近な活動を通して、ボランティアとは何か、気づき、やさしさへつながる、ボランティアの第一歩を目指しています。

今年は身近なものを再利用=エコ活動を中心に、急な災害に対応できるちょっとしたボランティアの体験を行います。

### ◇身近なもので救急法

…災害にいつ遭遇するかわかりません。そんなときに身近なもので簡単にできる救急法を学びます。

### ◇AEDを学ぼう

…「運動中に心肺停止になり、AEDで命が助かった」「AEDがあったら…」というニュースを見たことありませんか。現在、AEDは市内各所に配置されています。目の前にAEDがあっても使用方法がわからなければいざというときに役立ちません。ぜひこの機会にAEDの使用方法をマスターしましょう。

※その他にもさまざまな活動体験を用意しています。

とき: 7月26日(火)~8月12日(金)のうち一日 ※日時は活動により異なります。

対象: 市内在住・在学の小学生(3年生以下は保護者同伴)から一般の方

※参加費無料、プログラムによって定員が決まっています。

\*よこすかボランティアセンター  
窓口にてパンフレット配布中!!

住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は

湘南しんきん各ローンセンターへ

**ローンセンターは休日も営業しております。**

■本店ローンセンター 0120-413-357

■上大岡ローンセンター 0120-470-417

**SHONAN** 湘南信用金庫

ホームページアドレス  
<http://www.shinkin.co.jp/shonan>



フッピーのよこすか探訪：猿島

## ボランティア大募集

募集団体・メロディー

内容：外出介助

- 日 時：①7月24日(日) 9時15分～16時  
②8月28日(日) 9時45分～16時  
③9月25日(日) 9時45分～16時

場 所：①ソレイユの丘②映画鑑賞③横浜山下公園散策

☆ダウン症のお子さんたちのグループです。

☆雨天時は場所が変更になります。



## よこすかボランティアセンターの新しいパンフレットができました

☆ホームページ（上記アドレス参照）で公開中！



よこすかボランティアセンター、横須賀市内の地区ボランティアセンターの紹介パンフレットです。



ボランティアに興味がある、これからボランティアを始めようという方に向けたボランティアの紹介パンフレットです。

★よこすかボランティアセンター窓口で配付しています。

## ボランティアコーナー

### よこすかボランティアセンター

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階

開 所 月曜日～土曜日 9時～17時(日曜日と祝日は休み)

電 話 (821) 1303 (825) 0017 / FAX (824) 8110

E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>

※ボランティア等の申込み・問合せ先を明記していないものは、  
よこすかボランティアセンターが窓口です。

## 第3回ボランティア学習会

### ～災害ボランティア～いま、わたしたちにできることは

「東日本を襲った地震と津波」さらに、「福島の原発事故」と日本中がかたずを呑んで見守っています。  
私たちは、どのような心構えで備え、対処すれば良いのか。  
また、何を考え行動しなければならないのか？を共に考えましょう！

日 時：9月10日(土) 13時30分～15時30分

場 所：市立総合福祉会館 5階ホール

参加対象：どなたでも参加できます。

内 容

## 1) 講演会

テーマ『震災における横須賀市民としての取組み』

講 師：横須賀市中央消防署 署長 新倉 和夫 氏

## 2) 宮古市の避難所を支援して

報告者：横須賀市西健康福祉センター館長 國本 由紀子氏

## 3) ボランティア活動報告～活動に参加して～

## 4) 質疑応答（理解を深め合いましょう）

## 申し込み先：よこすかボランティアセンター

※注：事前申し込みをお願いします（氏名・連絡先）

定員400名になり次第締め切ります

主催：横須賀市ボランティア連絡協議会

後援：横須賀市・横須賀市社会福祉協議会

## 第1回福祉のしごとフェア2011(横須賀)

日 に ち 7月21日(木)

場 所 総合福祉会館 5階ホール

内 容 9時30分～11時30分 就職ガイダンス

13時～16時30分 就職相談会

対 象 福祉分野への就職に関心のある方、学生

そ の 他 事前申込み不要

問合せ 神奈川県社会福祉協議会

かながわ福祉人材センター TEL 045-312-4816



**AD.MIND CO.,LTD.**  
Design Production Company

## 最良の結果を導き出す良きパートナーでありたい。

ご厚情賜りました「株式会社 アド・ワークス」は休業致します。

企画

デザイン(Graphic・Web)

撮影

それにともない『株式会社 アド・マインド』を設立する

eBook

3DCG

Movie

運びとなりました。これまでと変わらぬご愛顧賜りますよう

印刷

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

〒239-0807 横須賀市根岸町3-14-25 グレイス5/F

TEL.046-838-0555(代) FAX.046-834-3331

株式会社 アド・マインド

E-mail:contact@admind.jp

URL:<http://admind.jp>

# お気軽にご相談下さい

秘密厳守

\*場所はいずれも総合福祉会館2階です。

相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。/12時~13時はお昼休みとさせていただきます。

【予約制】窓口の相談は混雑しているので、お越しいただく前に必ず電話でご連絡ください。

所得の低い世帯、お年寄りや障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【資金について】①お困りの内容によって資金の種類が異なります(一般生活費の貸付けはありません)。

②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。③原則として連帯保証人が必要です(市内在住の方)。

**介護相談**

●毎週月~金曜日  
10時~16時 福祉機器展示場  
電話相談 TEL(824)9436

**住宅改造相談**

●毎月第4水曜日  
10時~15時 福祉機器展示場  
予約は TEL(821)1301

**ありがとう**

社会福祉のために、温かい寄付がありました。(敬称略)  
平成23年3月1日~5月31日  
パーラー風羅巴、梯根岸工務店、船橋珠枝、栗田敏彦、横須賀市資源回収協同組合、神奈川県建築士事務所協会、横須賀支部の建築士はじめ、介護福祉士が相談に応します。

物 品 44件

湘南信用金庫、松生キヨ子、リッチランド、横川和司、三春町地区VC、上町第2地区VC、佐藤絵子、岩崎光子、かたつむりの会、手話サークル逸見、大津地区VC、横須賀市シルバー人材センター、大坪喜美子、柳田和代、本町デイサービスセンター、亀井裕子、久里浜地区VC、匿名

寄付金 23件 三一五、六四四円

## おススメの一冊 『もう一度、抱きしめたい』

### 脳性まひの僕に舞い降りたダウン症の王子さま

(中村勝雄著 東京新聞)

生まれたときから脳性まひで、車いす生活を余儀なくされ、一人では食事もできない。そんな著者が結婚し、生まれた子どもはダウン症と診断された。

「わが子がダウン症児として誕生したとき、ぼくは歩いたこともないのに、膝から崩れ落ちていくように自分の感情が壊れていくのを止められなかった。発狂してしまいそうだった。障害者を取り巻く環境など、それを知り過ぎている自らの記憶が忌まわしかった」

共に障害者という父と子の、432日一横須賀にゆかりのある著者が綴った、1年2ヶ月の記録です。



## 今年も実施中!

### 湘南衣笠ゴルフチャリティーシート 横浜ベイスターズ・ファームホームゲーム招待事業 横浜F・マリノスホームゲーム招待事業

横浜ベイスターズ・ファームでは、湘南衣笠ゴルフ(大矢部)の協賛で、心身に障害のある方や、福祉施設等を利用するお子さんをホームゲームに招待しています。また、横浜F・マリノスも、同様にホームゲームへ招待する事業を行い、迫力のある試合や観客が一体となった応援に、参加した方々から大変喜ばれています。

横須賀市社協は、この二つの事業に協力しています。

【問い合わせ】地域福祉課 TEL 821-1301

東日本大震災で被害にあわれました皆様に、心からお見舞い申し上げます。  
3月11日(金)午後3時30分過ぎ、相模湾内の陸に面し たさらに小さな小和田灘にも津波が押し寄せました。せわしなく鳴り響くサイレンと何を言つてゐるのかよくわからぬ防災無線にせかさうと意を決していいたところへ、職場から一度帰宅しようと車で避難する」と携帯電話に連絡があつた後、家に集合できたのは深夜まで通りかかった人に聞かれた。我が家がこの時の道路の状況をたまたま車で通りかかつた人に聞かれた。

「節約をしなければ」、「隣のあはあちゃんは大丈夫かな」、「あそこには赤ちゃんが居たな」、「この辺で一番高い所は何処だろ」等など。国が歴史が変わると同時にこの自然現象が起きたまさにこの時に自分が生きている事に感謝し、人と人のつながりを大切にし、謙虚に生きることを思つ日々です。

●毎週月~金曜日  
9時~11時30分・13時~16時  
予約は TEL(821)1301

**福祉機器や介護について介護福祉士があ答えします。**

●毎月第4水曜日  
10時~15時 福祉機器展示場  
予約は TEL(821)1301

**あとがき**

くと、走っていた京急路線バスのタイヤが海水に浸かっていふこと。この時間帯は、満潮時ではなかつたため、道路の冠水だけで済んだものの、そうでなければ我が家への浸水は免れなかつたと思われます。

あの日以来、繰り返し報道される津波の画面が頭の中にインプットされ、それまでのありふれた日常生活が少しづつ変化していく事に気付きます。

「この辺で一番高い所は何処だろ」等など。国が歴史が変わると同時にこの自然現象が起きたまさにこの時に自分が生きている事に感謝し、人と人のつながりを大切にし、謙虚に生きることを思つ日々です。